

めぐみイエス・キリスト教会

2025年11月16日(日)第三主日礼拝

午前10時より

週報「通算第783号」



2025年標題聖句

イザヤ書40章30節～31節

《若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。》

第一礼拝(教会にて)	毎週日曜日	午前10時～11時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌378「罪の世人らに」 p. 608

【交読文】 No.60 ヨハネの黙示録第21章 p. 928

【賛美Ⅱ】 新聖歌451「カルバリ山より」 p. 726

【使徒信条】

【主の祈り】

【前回説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲「アバ父よ」

【聖書朗読】 ルカの福音書11章33節～36節 (p. 139上段)

【礼拝説教】 《世の光として》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所ルカの福音書11章33節～36節

11:33 だれも、明かりをともして、それを穴蔵の中や升の下に置く者はいません。燭台の上に置きます。入って来た人たちに、その光が見えるようにするためです。

11:34 からだの明かりは目です。あなたの目が健やかなら全身も明るくなりますが、目が悪いと、からだも暗くなります。

11:35 ですから、自分のうちの光が闇にならないように気をつけなさい。

11:36 もし、あなたの全身が明るくて何の暗い部分もないなら、明かりがその輝きであなただけを照らすときのように、全身が光に

満ちたものとなります。」

●ポイント1. 共観福音書における同一平行記事から

※マタイの福音書5章14節～16節「山上の垂訓」(新約p.7上段)

5:14 「あなたがたは世の光です。山の上にある町は隠れることができません。

5:15 また、明かりをともして升の下に置いたりしません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいるすべての人を照らします。

5:16 このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです。」

●ポイント2. 主イエスが言われる「世の光」とは？

※ヨハネの福音書8章12節「エルサレム神殿にて」(新約p.195)

8:12 イエスは再び人々に語られた。「私は世の光です。私に従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、命の光を持ちます。」

※ヨハネの福音書9章4節～5節「盲目の青年」 (新約p.199)

9:4 「私たちは、私を遣わされた方のわざを、昼のうちに行なわなければなりません。だれも働くことができない夜が来ます。

9:5 私が世にいる間は、私が世の光です。」

●ポイント3. 主イエスの約束と弟子たちの使命とは？

※使徒の働き1章8節「オリーブ山への道すがら」 (新約p.232)

1:8 「しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、私の証人となります。」

◎先週のメッセージ【ヨナのしるし】

《主イエスは、すでにメシアとしての多くの奇跡を行なっていました。イザヤ書には、メシアとしての証拠のしるしが書き記されています。『見よ。あなたがたの神が来て、あなたがたを救われる。その時、目の見えない者の目は開かれ、耳の聞こえない者の耳は開けられ、足の萎えた者は鹿のように飛び跳ね、口のきけない者の舌は喜び歌う。』

それにもかかわらず、彼らは、「もっと大きなしるしを見せろ。ならば信じよう。」と言うのです。彼らが見たかったしるしとは、エリヤを通して神様が成された「天から火が降って来る奇跡」のことです。

「この時代は悪い時代で、しるしを求めますが、しるしは与えられません。ただし、ヨナのしるしは別で、ヨナがニネベの人々の為に、しるしとなったように、人の子がこの時代の為に、しるしとなるからです。」

ここで、主イエスが言われた「ヨナのしるし」とは、『ヨナは三日三晩、魚の腹の中にいた』ことであり、十字架と復活を表わしています。「南の女王はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たからです。しかし見なさい。ここにソロモンにまさるものがあります。」

この記事は、第Ⅰ列王記に書かれており、シェバの女王がソロモンの名声を聞き、難問をもって彼を試そうとしてやって来た時のことです。人類の歴史において、ソロモンほど知恵に富んだ者は存在しません。しかし、主イエスは、ソロモンよりもさらに知恵に満ちたお方であることを明らかにしています。箴言の知恵とは、主ご自身なのです。「ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし見なさい。ここにヨナにまさるものがあります。」ヨナの働きは素晴らしいものでした。しかし、そのヨナよりも、主ご自身はまさる者であることを明らかにしています。十字架と復活こそ、私たちが誇るべき最大のしるしなのです。主イエスは今も生きておられます。私たちは、主が再び来られる時まで、主の証人として、この世に遣わされているのです。》

◎お知らせ

※次回11月の第四主日礼拝は、11月23日午前10時からです。